

八福神～8つの町（地区）と共に生きる～

本校の学校教育目標

「自分の可能性を信じ自ら学び自ら鍛える生徒の育成」

佐世保市立宮中学校 学校通信

第12号（令和4年1月11日発行）

発行責任者 熊本 直樹



**明けましておめでとうございます。
今年もよろしくお願いたします。**

2022年を迎えました。2並びの年ということで縁起の良い年になるかもしれませんね。さて、今日は久しぶりに多くの生徒をみることができました。学校は生徒がいなければただの建造物に過ぎず、生徒がいて初めて、“生きた建物”になります。住居で例えれば、人が住んでいる家と空き家との違いでしょうか。生徒がいることで血が通い、体温や息遣いが感じられるのです。長期休業明けの日に、いつも感じる「ああやっぱり学校はいいな」という思いを今日も感じることができました。学校はこれからいわゆる「年度末」に向けて、更に慌ただしくなっていくと思います。一つひとつの活動や取組をより丁寧に、確実にっていきます。本年もよろしくお願いたします。



【1月11日 全校集会】

受験シーズン始まる！先陣をきって1月18日（火）に3つの高校で

いよいよ受験シーズンとなります。早い高校は1週間後の18日（火）に試験が実施されます。おそらく3年生の生徒の大半が初めての経験でしょう。「合否」という、いわば“外部評価”を受けるのも今までほぼなかったでしょう。ただ、私の経験でいえば、試験の前は緊張が頂点に達しますが、いざ試験が始まり、テスト用紙が目の前に配布されると、反射的にテストに向かい、そうすると緊張感はなくなります。これは、今まで学校でテストを何度も受けてきた学生の本能でしょう。

受験で最も大切なのは「目標に向かって最大限努力した」という事実です。その事実を自分の中に残さなければ、受験する意味は失われます。合否が気にならないといえは嘘になるでしょうが、人生は高校の合否で浮き沈みが決まるものではありません。中学校も高校も人生の通過点に過ぎず、決してゴールではありません。自分の人生をどう生きるは自分で決めるべきものです。中学校や高校が決めるものではありません。“悔いのない人生”とは様々な決断とその責任を他に転嫁しない人生です。そのような人生を歩き始めるためのステップになる受験であってほしいと願っています。

はちまん爺のツイート日記

※プライバシー保護の観点より、写真等の掲載については遠景のもの等を選択しております。

飲んだ、食べた、寝た…猛烈なリバウンドの兆候を肌で感じておる「はちまん爺」じゃ。さて、年が明けた。年始にあたり何を語ろうかと考えた時、野球好きのわしはやはり野球ネタかなと思ひ、それもあえて時の人大谷ではなく、イチロー選手のことを語る。彼はすでに中学生の時から有名人であったが、選択した高校はまだ実績のなかった学校じゃった。その際彼はこう言った。「自分の目標は甲子園ではなくプロである」と。自分流の練習をするという噂だったが、いざ入学すると他の生徒と同じメニューを淡々とこなしていた。彼にとっては楽な練習だったのかもしれないと当時の指導者はいう。しかし、夜中にグラウンドに幽霊が出るという噂が立ち、前出の指導者が確認に行くと、イチローがオリジナルの練習をやっていた。指導者や他の選手への彼なりの配慮だったのだろう。「こいつはプロの選手になる」と指導者は確信したという。ろくでもないスポーツ選手もいる中、彼の生き様はずい中学生に参考にしてほしいものじゃと思ふ。